

FMプロジェクトマネジメント研究部会

VUCA・ニューノーマル時代の FMプロジェクト マネジメントとは

部会長 **吉井 隆**

よしいたかし

株式会社NTTファシリティーズ
 カスタマーソリューション本部営業・ソリューション企画部
 ワークプレイスソリューションPT 担当課長
 認定ファシリティマネジャー



FMプロジェクトマネジメント研究部会は、インハウス、サプライヤー双方の専門性を持った20名以上のメンバーで構成される。ワークプレイスを第四の経営基盤とした企業のFMプロジェクトマネジメント（以降FMPM）力向上に寄与する調査研究と、養成普及を行うことを主旨とし、先進事例調査や新たな要求課題への対応策の考察等を行っている。

ファシリティマネジメントフォーラムではFMPM手法に関する調査研究成果を題材に「VUCA（不確実）でニューノーマルが求められる時代を背景に、今後企業にとって働き方・働く場がどうあるべきか」について講演を行った。

これまで当部会は企画→計画→管理→終結と順に進める「ウォーターフォール型」で調査研究を行ってきたが、ここ数年はVUCAな時代を踏まえ複数の分科会が同時・分散で企画進行する「アジャイル型」で調査研究を進めた。

「Withコロナからニューノーマル時代のオフィス研究分科会」は、これからの働き方・ツール・働く場をテーマに、ハイブリッド型の働き方による分散型社会についての動向調査研究を深耕した。

「PM固有技術分科会」は、「アジャイル型」PM手法に関する調査研究を進めた結果、PM手法のみならずワークプレイス自体が可変性を持った形態となることを

一つの解答として導いた。

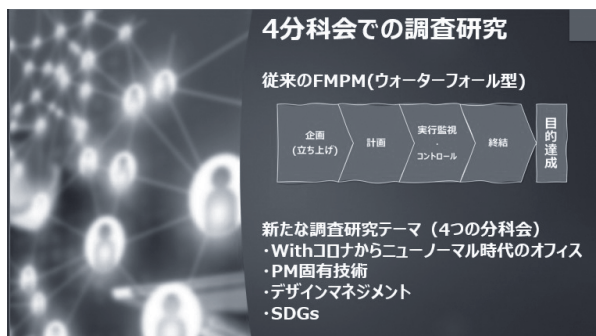
「デザインマネジメント分科会」はオフィスが従来の生産設備の位置付けからワーカーの嗜好により選択する消費対象に変化したという仮説をたて、マーケティング起點のプロダクトデザイン手法を例に、これからのワークプレイスデザインの意味に関する調査研究を行った。

SDGs分科会はWell Being(WELL 認証)をテーマにファシリティマネジャーが実現できる施策を調査し、経営手段としての脱炭素、ダイバーシティ&インクルージョンに関する研究を行った。成果はJFMAから発刊予定のSDGsタスクフォースレポートに執筆した。

講演では「働き方・働く場にとって、コロナ前後で最も変わったこと」「今後、経営者やワーカーにとって働き方・働く場が更にどうなるかの予見」の2題について、4分科会リーダーによるパネルディスカッションを実施。VUCAな時代を背景に「働き方」はより多様性を持ち常に変化していき、「働く場」は仮想空間を含む多様性と変化に柔軟に対応することが求められると結論づけた。

FMPM研究部会では、上記の調査研究に加え日々の情報交換や業務課題の相互相談などを行っている。ご関心のある方は部会への参加をお勧めしたい。また過去20年超に及ぶFMPM部会の調査研究成果は出版物としてもまとめているのでぜひ参照されたい。◀

調査研究部会 ● FMプロジェクトマネジメント研究部会



図表1 FMPM部会調査研究体系



図表2 FMPM部会出版物